

静岡県市長会長賞

愛犬の散歩のとき

焼津市立大井川西小学校

六年 齋藤大地

ぼくの家の愛犬はトイ・プードルのチョコ、性格はとても活発で人なつこい犬だ。

チョコが初めて家に来たのは二十十年五月十日だった。チョコは初めて家に来た日に、もう活発にとび回っていた。

初めての散歩は、二週間後の二十十年五月二十四日の朝、五時半ごろだった。初めての散歩でもチョコはうれしがって、リードを引っぱってグイグイ走っていた。そんな日が一年ほど過ぎた日のことだった。チョコがリードを引っぱらずに、ぼくに合わせて道を歩いてくれた。車が来たときは、よけて右側を歩いてくれた。そのときぼくはとてもうれしかった。それまで一年間まったく一緒に歩いてくれなかったのに一緒に歩いてくれた。

その日以来チョコの散歩はとても楽しくなった。それまであまり楽しくなかったチョコの散歩が、一緒に歩いてくれるだけで、散歩が楽しくなるから、ぼくは

「犬の力ってすごいなあ。」
と思ったので、

「これからは、もっとたくさんチョコの散歩をしたいなあ。」

と思い、チョコの散歩に行く回数が増えた。

その前にかっていたしば犬のケンケン、初めからおとなしくてまったくほえない、とても利こうなしば犬だった。散歩のときも初めからリードを引っぱらないしば犬だった。なのでチョコみたいなことは思わなかった。

チョコをかったときは大変だなーって最初は思ったけど、かっでいくうちにチョコにしかないよさがあるんだなーって思った。だからこれからは、チョコをたくさんかわいがって、たくさん散歩に連れていこうと思った。